

がんばろう 南三陸町

復興第81号

南三陸マイタウン月刊情報

発行所

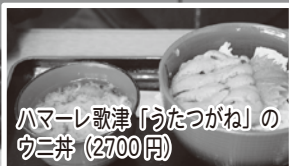
千葉総合印刷株式会社

本吉郡南三陸町志津川字沼田 150-84
TEL(46) 3069 FAX(46)3068

企画・編集

志津川広報センター

南三陸町歌津の「田東山つつじ祭り」「しろお祭り」盛況御礼!

ハマーレ歌津の
商店街でお待ちしてます!高い河川堤防が整備され、
川幅が広がった伊里前川

ピチピチのしろうお

南三陸町歌津の大自然と海の幸をご体感下さい

南三陸町の小中学校児童生徒数

(2019年4月1日現在)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	全校
志津川	23	26	23	28	30	42	172
戸 倉	9	8	13	8	8	6	52
入 谷	11	9	8	11	12	16	67
伊里前	17	19	32	19	17	25	129
名 足	11	8	6	10	9	9	53
計	71	70	82	76	76	98	473

	1 年	2 年	3 年	全校		志高 1 年
志津川	75	65	68	208	情報ビ	17
歌 津	25	38	38	101	普 通	55
計	100	103	106	309	計	72

ラムサール認定の志津川湾

田東山つつじ祭り、山頂の東屋でのんびりと太平洋を眺めつつじの間の散歩コースなど一時の癒しです。



リアス海岸を眺望



つつじの散歩道

◁「たつがね湖」の払川ダム
・雄大な歌津地区の名所です。1本の大きな株、
素晴らしい枝ぶり。

手島郁郎の記録

手島郁郎の半生を描くドキュメンタリー

敗戦後の1948年、熊本で米占領軍軍政官に抵抗して追われ、逃げ込んだ阿蘇山中で神より召命の黙示を受けて、伝道に立つ。聖書を信じ、聖書のままに生きた手島郁郎の奇しき事跡を描く。

《日時》 令和元年 6月 22日(土)
13:00 開場(13:30 開演)

《会場》 南三陸町バイサイドアリーナ 文化交流ホール



(千葉印刷代表 受皿支援)

未来への教訓

復興! 大津波の記憶を風化させない

平成30年(2018年)

～地元報道より～

12月の出来事

南三陸町

◆再建された南三陸町役場本庁舎と歌津総合支所・歌津公民館が、地元木材を使った開放的な空間や住民が気軽に集まれるスペースを設けている点などが評価され、ウッドデザイン賞奨励賞とグッドデザイン賞を受賞した。

◆南三陸町入谷鏡石地内の国道398号で町内に住む志津川高校の女子生徒(18)が、原動機付自転車で走行中に転倒し、意識不明の重体となっている。事故当時、路面は凍結していた可能性があったという。

◆2日午後5時ころ南三陸町戸倉街道方地内の山道でクマ1頭、3日午後3時ころには歌津皿貝地内の三陸道IC付近で道路脇にいるクマ1頭を目撃したとの通報が南三陸町署にあった。

◆2日バイサイドアリーナで南三陸町の「子どもたちの郷土芸能発表会」が開かれた。町内で活動する芸能5団体、約100人が出演した。

◆3日南三陸町は、新たに女性2人を地域おこし協力隊に任命した。任期は1年で3年まで更新できる。

◆返礼品をリニューアルした11月以降、南三陸町へのふるさと納税が増加している。リニューアルした11月の寄付は183件・435万円で前年同期と比べて件数は8割、金額は1割増加となった。

◆南三陸地域では翁倉山が古くからイヌワシの繁殖地として知られ、2015年には「南三陸地域イヌワシ生息環境再生プロジェクト」を発足。8日には町役場で、住民ら約50人を対象にしたセミナーを開き、取り組みの概要を説明した。

◆11日町役場で、南三陸町環境審議会が開かれ、家庭ごみ有料化の導入について町が示した方針通り2019年10月から実施する考えを支持した。有料化実施の可否について、委員からは異論はなく来年10月が妥当だとする考えで一致した。

◆南三陸町立志津川小学校の6年生が12日、町役場の交流スペース「マチドマ」で「南三陸町のまちづくり」をテーマに福祉や防災など自分たちの町が抱える課題を解決するためアイデアなどを伝えた。44人の児童が8分野に分れプレゼン形式で発表した。

◆総合学習で防災を学んでいる南三陸町名足小学校の4年生が、東日本大震災で津波が到達した区域、過去に地域を襲った災害などを南三陸消防署歌津出張所の署員と一緒に学区内を歩いて調査し、「命を守る防災マップ」を作った。

◆昨年オープンしたアップルタウン南三陸ショッピングセンター(南三陸町志津川天王前)敷地内に19日、復興を願ってサクラ・モミジなど61本が植樹された。

◆南三陸町の公務員に冬のボーナスが支給され、特別職・一般職・議会合わせて1億5239万円。人事院勧告に基づき、昨年より0.045カ月分上がった。

◆南三陸町の特産のタコをテーマに、子供たちが理解を深めるイベントが、入谷公民館で15日開かれた。一般社団法人COMMONSが「こども社会体験クラブ」の一環として開催したも

ので、小中学生が参加した。しづがわ民話の会の仲松敏子さんも民話を4作紹介した。

◆南三陸町内で運行する公共交通の在り方を定めた「町地域公共交通網形成計画」を策定する。課題には、最寄りのバス停まで遠い高齢者や、通学、通院などで日常的に乗合バスを利用するニーズへの対応、利用が少ない路線での効率化に向けた検討などが挙げられている。

◆23日南三陸ハマーレ歌津で、歌津あわび祭りが開かれた。「天皇誕生日」に合わせて東日本大震災震災後に始まって6回目。午前9時から整理券を配布し、早い人は午前5時ごろから待つという人気で、400箱が完売した。

◆南三陸町のサケ人工ふ化放流事業で、先月から海産親魚を使って行なわれていた採卵作業が24日終了した。確保したのは、これまでで最も少ない101万粒にとどまった。河川への放流は、1月下旬を予定している。

◆25日志津川東復興住宅第2集会所で、南三陸町で資源循環の実証実験に取り組んだ。アマタや地元事業所などによる住民向けの成果報告会が開かれた。アンケートでは、可燃ごみの量が減ったと答えた人が多かった一方で、「場所が遠い」「分別の仕方が分かりづらい」などの課題もでてきた。

◆南三陸町・女川町はトヨタ自動車などと協力し、町内観光スポットの回遊や通院、買い物に電気自動車を活用した実証実験に取り組むことになった。町民の日常的な移動手段の一つとしての活用を検討している。

◆南三陸町の志津川仮設魚市場で29日、志津川湾おすばでまつり福興市が開かれた。町内外から33店舗が出店。熱々のカキ汁や手打ちそばがふるまわれ、来場者の体を温めた。